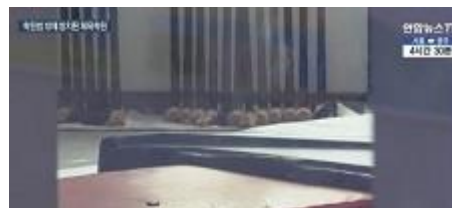




2025 年度
第 37 号

体育市民連帯 ニュースレター

1
虐待事件発生しても
閉園できない…
セーフティーネット外の
スポーツスクール



2
柔道有望株
学校訓練で四肢麻痺
安全を手放した
教育当局



3
選手の腹に向けて
ボールを数回蹴った
元 K リーガー
過去の暴行主張



4
交代も人員もない
田舎バスケット部の奇跡
5 人中 3 人が国家代表
プロチームに抜擢



5
エリート体育 vs
スポーツクラブ
競争ではなく
共生の解決策を模索



大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



*

01 聯合ニュース 2025-10-04

虐待事件発生しても閉園できない・・・セーフティーネット外のスポーツスクール



[アンカー]

テコンドーやサッカーなど児童が多く通う体育学院で児童虐待事件が後を絶たないですね。しかし、予防のための制度的装置が依然としてずさんだという指摘が多いです。

体育学院は一般の学院と違って管理されているからだということですが、シン・ヒョンジョン記者の報道です。

[記者]

昨年、京畿道楊州のあるテコンドー道場で5歳の児童がマットに逆さまに放置されて死亡した事件は、社会的衝撃を与えました。

今年5月、全羅南道海南ではテコンドー館長が園生に暴行する事故が発生し、22日仁川ではあるテコンドー師範が女子生徒に性的暴行を加えた疑いで拘束されるなど類似事件が絶えることなく続いています。

この5年間、性犯罪や暴行などで体育指導者の資格が取り消された事例は数百件あり。

性犯罪者と児童虐待犯罪前科者が体育施設に就職して摘発された事例も毎年発生しています。

しかし、対応は依然として後の祭りにとどまっています。

体育塾が一般の塾と違って、塾法ではなく体育施設法の適用を受けるからです。

運営時間と教育環境に対する制限がなく、虐待事件が発生しても閉園措置規定さえありません。

従事者資格管理も教育部ではなく文体部と地方自治体の役割であるため、必須教育履修可否モニタリングなども粗末です。

幼いころから体育塾を訪れる児童たちが虐待犯罪の死角地帯に露出しているわけだ。

体育施設法もやはり学院法に準じた行政処分ができるように法改正が必要だという指摘が出てくる理由です。

<チョ・ゲウォン/共に民主党議員(国会文体委)>

「既存の体育施設法は体育施設安全中心の法じゃないですか。児童虐待行為に対して厳しく処罰し、(施設を)閉鎖できる条項まで盛り込むよう改正を準備しています」

細かい法的補完が行われない限り、体育施設内の児童虐待再発防止は期待しにくいです。

聯合ニューステレビのシン・ヒョンジョンです。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/MYH20251004003500038>

02 MBC ニュース 2025-10-10

柔道有望株、学校訓練で四肢麻痺・・・安全を手放した教育当局



アンカー

柔道の国家代表選手を夢見ていた高校生の有望株が、学校の訓練中に四肢麻痺になる事故に遭いました。

指折りの柔道名門であるこの学校でこのような危険な事故が繰り返し起きているが、学校の沈黙の中で生徒の安全に責任を負う義務がある教育当局は事故が起きた事実さえ知らずにいました。

コン・ユンソン記者の単独報道です。

レポート

「押して、押して」

リハビリ治療士の助けを借りて、かろうじて肩を持ち上げる高校1年生のファン・ギョンジュン生徒。

8ヶ月間リハビリ病院に入院して治療を受けています。

ファン君は一人ではほとんど動けない「四肢麻痺」状態です。

しかし、わずか9ヶ月前にはオリンピックの金メダルを夢見ていた有望株でした。

2年前、全国少年体育大会で金メダルを取ったこともあります。

ところが、柔道名門である宝城高等学校に入学して夢を育てていた1月、学校冬季合宿訓練中に首が折れる事故に遭ったのです。

他のクラスの同期生と組手をしていたところでしたが、当時の監督は席を外していて、20代のコーチ2人だけでした。

[ファンギョンジュン(仮名)/高校1年生]

「先生2人がどんどん煽りながら、『もっとやってみろ、もっと他の技もやってみよう』と言って……」さて、2008年にも同校の柔道部で同じ事故があったことが明らかになりました。

一緒に柔道部を運営しているボソン中学校の生徒が、大連で首を骨折して全身麻痺になったのです。

最高裁は2018年、この事故と関連して学校法人の賠償責任を認め、「学校側は生徒たちの生命と安全に配慮しなければならず、特に運動部の場合、教師が危険な状況に適切な措置ができる準備をしなければならない」と判示しました。

しかし、変わったことはありませんでした。

監督さえいない状況で訓練を進めた学校は教育庁に事故事実さえ報告せず、教育庁は学校のせいにしています。

[ソウル市教育庁関係者(提供:共に民主党チョン・ウルホ議員室)]

“学校で報告をしなければならないのに、その報告をしなければ教育庁でもう確認することはできないじゃないですか”

年に1回以上、教育部の運動部訪問点検指針もありますが、役に立ちません。

今年8月、該当学校の訪問点検報告書を入手して調べたところ、事故事実を抜けており「規定遵守」という意見だけです。

[キム・テギョン/ファン・ギョンジュン学生の母]

「無責任ですね。全部放置しておいて… 教育庁でもどこでも私たちに連絡が一度でも来たでしょうか。

「あ、こんなに事故が起きたんですか？」 でも全然…”

[チョン・ウルホ/共に民主党議員]

教育当局が安全不感症で手をこまねいている間、深刻な事故に遭っても放置された生徒がどれだけいるか把握することさえ難しい状況です

ソウル市教育庁は「報告体系を含む学校運動部運営点検体系を全面再検討する」と明らかにしました。

MBC ニュースのコン・ユンソンです。

出典：https://imnews.imbc.com/replay/2025/nwdesk/article/6763946_36799.html

03 インターフットボール 2025-10-10

選手の腹に向けてボールを数回蹴った…元 K リーガー過去の暴行主張



元 K リーガーのイム・ミンヒョクが最近、蔚山 HD に赴任した盧サンレ監督代行が、過去の選手たちに暴行を加えたと主張した。

イム・ミンヒョクは 10 日、自身の SNS を通じて「盧サンレ監督代行に差し上げる手紙」という題名の文を載せた。彼は「蔚山がシン・テヨン監督を更迭し、盧サンレ代行体制に入るというニュースを見て連休にもかかわらずノートパソコンをつけた」として「私との縁は 2017 年私が新人として全南ドラゴンズに入団した時、師弟関係で始まった」として文を始めた。イム・ミンヒョクは「新人ゴールキーパーにもかかわらず、私を K リーグ 1 にデビューさせてくれた監督なので、心の片隅に感謝の気持ちはいつも持っている」として「それでも私は今日ニュースを見た後から手足が震え、していたことに集中できなかった」と付け加えた。

続く内容は衝撃的だった。イム・ミンヒョクは「あの時の蛮行を覚えているか」とし「(盧サンレ監督代行が) 新人級選手たちの行動が気に入らないとこれ見よがしに古参を暴行した。練習試合の結果が気に入らないと選手の腹に向かってボールを数回蹴った」と主張した。

続けて「試合当日に向かってエネルギーがないように見えるという理由で暴言を浴びせ、ラインナップから外すと脅迫したこともあった。加害者なので当然記憶からぼやけるだろう。私はその日以後、選手として大成できなくても競技場で暴力を振るう人に簡単に指揮棒を握らせることはない」と誓った」とした。イム・ミンヒョクは「『君子の復讐は 10 年が過ぎても遅くない』という言葉が思い浮かぶ。復讐とまではいかないが、今日の盧サンレ代行と私のことを言っているような気がする」とし、「サッカー界の一部では良い人として評価されていた。悪はいつもそばに静かにいるのではないだろうか」と明らかにした。それと共に「8 年後の今日、代行職としてそのようなことを再び再演するわけもないが、それでも過去のことは正していかなければならないと思うので、このように文を残す」として「多かれ少なかれ被害者が苦痛を受けただけに苦痛を受けながら生きていけ」と話した。

イム・ミンヒョクは「公式謝罪するつもりもないだろうが、私も許すつもりはない。それでも一抹の罪悪感や少なくとも良心の呵責は感じてほしい」とし、「暴力も暴言もない体育界の変化に小さな助けになることを願うだけだ」と付け加えた。

盧サンレ監督代行は選手時代、全南ドラゴンズ、大邱 FC など活躍した国家代表出身の攻撃手だった。引退後は全南ドラゴンズ、江原 FC など指導者として活動した。最近は蔚山ユースディレクターとして活動していたが、9 日にシン・テヨン監督の後を継いで蔚山監督代行に赴任した。

しかし、蔚山の指揮棒を握ってから1日も経っていない時点で、暴行論議が登場した。まだイム・ミンヒョクの主張だけが出ているため、事実かどうかは把握しにくい状況だ。ただ、イム・ミンヒョクの暴露が事実なら、降格圏に陥っている蔚山はさらに大きな打撃を受けるものと見られる。

以下、イム・ミンヒョクの「盧サンレ監督代行への手紙」の全文

蔚山がシン・テヨン監督を更迭し、盧サンレ代行体制に入るというニュースを見て、連休にもかかわらずノートパソコンの電源を入れました。

私との縁は2017年、私が新人として全南ドラゴンズに入団した時に師弟関係で始まりました。

新人ゴールキーパーであるにもかかわらず、私をKリーグ1にデビューさせてくれた監督なので、心の片隅に感謝の気持ちはいつも持っています。

それでも私は今日ニュースを見てから手足がガタガタ震えて、やっていた仕事に集中できませんでした。

盧代行、あの時の蛮行を覚えていますか？

新人級選手たちの行動が気に入らないと見せつけるように古参を暴行しました。練習試合の結果が気に入らないと選手の腹に向かってボールを何度も蹴ったことは？そして試合当日、私に向かってエネルギーがなさそうだという理由で暴言を浴びせ、ラインナップから外すと脅したことは？加害者なので当然記憶からぼやけているでしょう。

私はその日以降決心しました。私が選手として大成することはできなくても、競技場で暴力を使う人が簡単に指揮棒を握らせることはないでしょう。しかし、私の望みが顔負けするほど、ほぼ10年という歳月が経ってから、このように向き合うようになりました。

君子報仇 十年不晚

「君子の復讐は十年経っても遅くない」という言葉が浮かびます。まあ、復讐とまではいきませんが、今日の大行様と私のことを言っているような気がしますね。

サッカー界の一部では「良い人」という評価が高いようですが、ユダヤ人をガス室に送ったドイツの公務員たちも誰かにとっては良い親、子供、友人だった平凡な人だったはずです。悪はそんなにいつもそばに静かにいるのではないですか？

自分の子供が大切な分、他人の子供も大切なことを今は少しお分かりでしょうか？

振り返ってみると、主力選手にとっては限りなく寛大で優しくあった監督だったので、今日この投稿に同意できない選手もいるでしょう。8年後の今日、代行職としてそのようなことを再び再演するわけもないでしょうが、それでも過去の歴史は正していかなければならないと思うので、このように文を残します。

いきなり行く手をふさごうとしているわけではありません。

過去にはそのような考えが強かったのですが、時間が経つにつれてその強い心も徐々に溶けていきました。

しかし、応援するつもりもありません。何度も何度も何度も被害者たちが苦痛を受けた分だけ苦痛を受けながら生きてください。

公式に謝る気もないでしょうが、私も許す気はありません。それでも一抹の罪悪感や少なくとも良心の呵責は感じてほしいと思い、心を重くして文を書きます。文章はよく書けるのに心が重いのは初めてです。今日、この重い師弟間の手紙が暴力も暴言もない体育界の変化に小さな助けになることを願うばかりです。

出典：<https://m.news.zum.com/articles/101381797/>

04 プレシアン 2025. 10. 06

「交代も人員もない」田舎バスケットボール部の奇跡・・・ 5人中3人が国家代表・プロチームに抜擢



「挑戦してみようという気持ちだったのに……」「(抜擢) されたという事実がまだ実感できません。これからは夢の舞台でボールを投げることができます」

バスケットボール部員5人のうち、なんと3人がプロ選手と国家代表に抜擢される快挙を成し遂げ、注目を集めた田舎の小さな学校バスケットボール部がある。

他ならぬ全羅南道靈光郡の法聖高校バスケットボール。このうち奇跡のような主人公は国家代表に選ばれたイ・ハヌル（18、センター183センチ）とプロチームに進出予定のキム・ミンギョン（18、センター183センチ）、イ・ウンソ（18、ガード、173センチ）選手だ。

代わりにキム・ミンギョン選手とイ・ウンソ選手が「2025 女子プロバスケットボール(WKBL)新人ドラフト」で名前が呼ばれた瞬間を思い出し、パク・チャンの喜びを伝えた。

キム・ミンギョン選手とイ・ウンソ選手が本格的にバスケットボールを始めたのは今から3年前。毎年、選手を探して全国を探して回っているナム・インヨン法聖高校教師から中学3年生の時、スカウトの提案を受け、慶尚南道泗川市と莞島からそれぞれ家族と離れて法聖高校に向かった。

両選手ともためらいはなかった。運動に対する興味があり、男性教師に対する信頼があった。ただ、いわゆるエリートコースという手順を踏まず、遅い時期に第一歩を踏み出し、漠然とした困難があるだろうという漠然とした気持ちはあった。

準備なしに練習2〜3ヵ月ぶりに初試合をした日。やはり予想通り大きな技量の差を実感し、無残に惨敗した。ナム教師は選手たちの短い球力と基本技が備わっていない現実を受け入れてプログラムを再調整し、急がずに一つ一つ基本技を忠実に固めていくことから始めた。

さらに、選手たちの強みを見つけ、ポジションを与え、それぞれの技量に応じた集中トレーニングを実施した。

ナム教師は「授業後、午後3時50分から6時まで、そして午後7時半から夜10時まで一日4〜5時間毎日練習時間を持った」とし、「最初はどこから手をつけるか難しかったが、恩師に助言も求め、その度に解決策を探して一つ一つ解決していくうちに、結局一つ解決していった」と話した。

「できる」努力の末に初勝利を手にした日、2人の選手の心に熱い何かが沸き起こった。人員もなく交代もない部員のたった5人で行わなければならない試合だった。相手は大田女子商戦。第3クォーターで体力が落ちると予想して飛びかかってきた。しかし、予想を覆して大きな差で法聖高校が圧勝した。キム選手は「相手はきっと第3クォーターの体力が落ちると甘く思っていただろうが、私たちは第4クォーターを走っても体力が余っている」とし「初勝利後、『頑張ればいいんだな』という思いで気を引き締め、部員たちとさらに熱心に汗を流したようだ」と話した。

諦めたかった瞬間も多かった。負傷が足を引っ張ったりもしたし、時にはチーム員たちと息が合わなくて困難が伴うこともあった。しかし、その度に5人の粘り強さ、そして男性教師が互いの支えになってくれて、3年の時間を共にした。

法聖高校でバスケットボールに出会った後、バスケットボールが人生の転換点になったという2人の選手。今後、金選手はKBスターズに、李選手はハナ銀行にそれぞれ所属してプレーすることになる。キム選手は「以前までは明確な目標がなかったが、バスケットボールはそれこそ私の人生を正してくれた存在になった」として「今後、チームに力になり助けになる役割をしたい」と話した。イ選手は「学校から支援をしてくれて完全に運動だけに集中することができ、5人で一丸となって生活しながらチーム員関係をよく固めていく方法を学ぶ契機になった」として「本当になるとは思わなかったが、本当になるということを悟らせたバスケットボールそして新しいチームでシックスマン（訳注：バスケットボールにおいてスターティングメンバーの5人に次いで、ベンチから最初に交代で出場する選手）、主力、チームの主軸になるまで一段階一段階急がずにやっていく」と明らかにした。

出典：<https://www.pressian.com/pages/articles/2025100517395742062>

05 CBS ノーカットニュース 2025-10-12

エリート体育 vs スポーツクラブ、競争ではなく共生の解決策を模索



最近、バレーボール界内外ではエリート体育とスポーツクラブ間の微妙な緊張感が流れている。エリート体育関係者たちは「スポーツクラブ現場には各種支援金が増えるが、実際に選手を育成するエリート体育は予算が減っている」として不満を提起する。支援が減っただけに、選手の需給とチーム運営に困難が大きくなったという訴えだ。

エリート体育は選手育成の根幹を守ってきたが、最近になってスポーツクラブ中心の生活体育政策が強化され、不満の声が高まっている。単純な予算問題を越え、韓国体育の構造的危機を表わしているという指摘まで出ている。

特に、選手の需給難が深刻だ。学生数の減少によりチーム維持が難しく、優秀選手を確保するための費用負担も大きくなった。これは最近、女子バレーボールの国際バレーボール連盟（FIVB）バレーボールネーションズリーグ（VNL）降格をはじめ、国際競争力の弱体化の原因として挙げられる。

ただ、これをスポーツクラブ支援拡大の影響と断定することは難しい。韓国バレーボール連盟（KOVV）の関係者によると、過去には新人ドラフトを通じてプロ選手を多く輩出した学校はそれだけ支援金を多く受け取ってきた。しかし、男子部は2022年、女子部は2023年から支援金配分方式が変わった。

連盟の新人選手選抜ドラフト施行細則第11条（学校支援金）第2項「学校支援金支給基準」によれば、小中高など学校支援金は選抜時点出身区分なしに上記固定金で各学校に配分する。大学の学校支援金の場合にのみ、入団金の順位で差等配分して支給する。

毎年多くのプロ選手を輩出するバレーボール名門校の立場で支援金が減ったのは事実だ。しかし、スポーツクラブに対する支援を拡大して生じた問題ではないというのが連盟関係者の説明だ。

スポーツクラブの現実も容易ではない。地方自治体と公共機関中心の支援は一部クラブに限定されており、大部分の民間クラブは人件費と賃貸料負担の中で運営難に陥っている。毎年政府と地方自治体の支援が減っている中で、あるスポーツクラブ関係者は「来年から支援金が切れるという話も出ている。まだ自生力を備えていないクラブとしては毎日不安に震えている」と訴えた。

スポーツクラブとは国民が自発的・持続的にスポーツを楽しめるよう組織的に運営される非営利団体をいう。政府は生活体育を基盤に優秀選手の育成と引退選手たちの指導者活用を通じた学校体育および生活体育発展の好循環構造を構築するためにスポーツクラブ政策を用意した。

大韓バレーボール協会は、スポーツクラブの活性化に向け、今年ディビジョンリーグを立ち上げ、運営している。文化体育観光部と国民体育振興公団が後援するディビジョンリーグは、生活体育から出発し、次第に専門体育に転換される過程を目標にしている。

しかし、このような好循環構造を整えるためには、解決しなければならない大きな宿題がある。両領域の立場の差を縮めることができなければ、葛藤だけが続くという分析が出ている。

エリート体育が「選手育成」を中心に動くならば、スポーツクラブは「事業」と「運営持続性」に焦点が合わされている。そのために互いを競争相手と認識し、好循環構造を作るのは難しいという指摘が相次いでいる。

クォン・ドンファンヨン・ヒョンジュン監督は「スポーツクラブで運動する子供たちが成長してエリート体育に移り、良い選手にならなければならない」とし「日本がそのような構造を備えている」と指摘した。続いて「日本はスポーツクラブとエリート体育ともに規模が大きく活性化されている」とし「一方、韓国はスポーツクラブとエリート体育を区分している」と分析した。

これに対しキム・ジェナム一神女子商業高校監督は「スポーツクラブは厳然たる事業」とし「エリート体育は子供たちを教えることが目的だが、スポーツクラブと目的が全く違うために連係できない」と否定的立場を示した。続いてキム・ジェナム監督は「スポーツクラブで上手だという子供たちがエリート体育に来ればあまり耐えられず辞める」とし「初等学校の時から運動した子供たちについていけない。スポーツクラブとエリート体育のレベルの差は大きくならざるを得ない」と指摘した。

にもかかわらず、エリート体育の現場では選手の需給に困っており、スポーツクラブに目をつけている。

フ・インジョン寿城高校監督は「最近クラブから連れてきた選手がかなり多い」とし「今すぐ急いでいるから連れてくるが、正直エリートに育てるのは難しい」と吐露した。続けて「私も今回の大会が終わればスポーツクラブを一周する計画」とし「それだけ選手需給がうまくいかない」と打ち明けた。

スポーツクラブの立場でもエリート体育に転向してプロに進出する選手を輩出してほしい。しかし、エリート体育の過度な成績至上主義のため、このような事例は出にくいという分析を出した。

スポーツクラブを運営しているサムスン火災のイム・ドホン団長は「スポーツクラブで運動する子供たちがエリート体育に来るようにしなければならない」とし「エリート体育に適応するのが難しければ、よく適応できるプログラムを構成しなければならない」と主張した。続けて「エリート体育は成績中心に訓練するが、スポーツクラブは興味中心なので成績も重要だが、年齢別プログラムを構成して興味を積ませなければならない」とし「成績を出すために強圧的にすれば選手たちがついていけないので確実な目標を設定し明確に説明しなければならない」と付け加えた。

あるスポーツクラブの関係者は、「エリート体育と共に競争する大会の必要性も強調した。彼は「エリート体育もクラブを見て、クラブもエリート体育を見て成長しなければならない」とし「クラブ選手たちがエリート体育選手たちと一緒に大会を行いながら彼らに憧れて、互いに共生できる方向に進むことができるだろう」と見通した。

この関係者は「クラブのインフラが良くなり、人が多くなってこそエリート体育から連れて行く名目ができる」と前提した。続けて「クラブが小さいのにエリート体育に行くのは容易ではない」とし「バレーボ

ールをする人が多くて連れて行く人も多くなり、スポーツクラブの実力が良くなくてもする人が多くてこそエリート体育が蘇る」としてスポーツクラブ活性化を主張した。

結局、問題の核心は「支援金」ではなく「体系」だ。 エリート体育とスポーツクラブが共存するためには、それぞれの役割を明確にし、政府と地方自治体がこれを調整する制度的装置を用意しなければならない。

才能のある選手を育てるエリート体育の専門性とスポーツクラブの底辺拡大機能が結合してこそ、持続可能な発展が可能だ。 韓国体育が真の好循環に進むためには、エリート体育とスポーツクラブの共存モデルが切実だ。

出典：<https://sports.news.nate.com/view/20251012n01053>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel：02-2279-8999、E-mail：sports-cm@hanmail.net ホームページ：<http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>